

『京都歴史災害研究 第二十六号』 原稿募集要項

立命館大学歴史都市防災研究所

立命館大学歴史都市防災研究所では、『京都歴史災害研究 第二十六号』（2025年3月末刊行予定）に投稿する原稿を募集いたします。募集内容は、以下の要項をご確認ください。皆様の投稿をお待ちしております。

1. 募集するテーマ

歴史・文化地域（京都に限定されない）における災害および防災に関する研究、文化遺産防災に関する研究、減災の知恵に関する研究、歴史災害（過去に発生した災害）に関する研究など。

2. 募集する原稿

投稿できる原稿の種類は、次の4つです。

論文：研究論文

短報：研究の中間報告、短文

資料紹介：史資料の紹介、史資料情報

書評：テーマに関する内外書籍の紹介と批評

以下の2つは、当研究所の編集・出版委員会で集約いたしますので、情報がありましたら事前にご相談ください。

史資料情報：原文コピー、出典、(解説)

文献目録（データベースを含む）：テーマに関する文献リスト

3. 投稿要領

事前に投稿の申込をしていただき、投稿規定に従って、①原稿データ ②出力した原稿 ③立命館大学学術誌等掲載申込書の3点を下記問い合わせ先までお送りください。

なお、投稿された原稿は、当研究所の編集・出版委員会で査読を行います。このため、掲載できないことや修正をお願いすることがあります。

*カラーチャージ

原則、モノクロ印刷とします。図などでカラー印刷が必要な場合には、著者がカラーチャージを負担することで可能です。その場合の費用は、4頁1セットとし、1セットあたり約65,000円、投稿申込以降のページ追加は1頁につき約30,000円となります。（印刷条件により金額が変わることがございますので、予めご了承ください。） カラー印刷が必要な場合は、投稿申込の段階でお知らせください。費用の請求は、後日、印刷会社

から行われます。

***別刷**

別刷は、1 論文あたり 50 部を無料で作成いたします。それ以上に必要な場合には有料となり、実費の請求は、後日、印刷会社から行われます。投稿申込の段階でお知らせください。投稿者より掲載承諾を得た論文については、刊行後、立命館学術成果リポジトリ「R-Cube」から PDF データにて入手可能です。

4. 投稿申込および投稿原稿送付の締切日

投稿申込締切日：2024 年 11 月 8 日（金）

①著者 ②タイトル ③ページ数 ④カラー印刷有無 ⑤別刷追加希望をお知らせください。

投稿原稿締切日：2024 年 12 月 13 日（金）

①原稿データ ②出力した原稿 ③立命館大学学術誌等掲載申込書をご提出ください。

5. 問い合わせ先および原稿送付先

立命館大学 歴史都市防災研究所事務局

〒603-8341 京都市北区小松原北町 58 番地

PHONE：075-467-8801（祝日を除く平日：9：30～17：00）

FAX：075-467-8825

E-mail：heritage@st.ritsume.ac.jp

歴史都市防災研究所 HP <https://www.r-dmuch.jp/>

『京都歴史災害研究』 投稿規定

論文

(1) 長さ

本文・注などをあわせて、2万字以内程度のものとしします。写真・図・表は、印刷後の仕上がりで A4 版におさまる程度の大きさとしてください。(写真・図表の量が過多である場合、削除していただくことがあります。)

(2) 本文および注

ワープロ原稿でお願いします。原稿は、A4 判縦置き、1 頁 40 字×40 行とします。

(a) 本文

本文の最初に、タイトル、著者名(所属)をお書きください。章は I、II、III、節は 1、2、3、項は (1)、(2)、(3) とします。

(b) 注

注番号は、該当箇所の右肩に上付き数字で 1) のように記し、本文の末尾にまとめて記述します。記載方法は下記に準じるようにしてください。

(例) 立命館大学「テキスト文化遺産防災学」刊行 委員会 (2013) 『テキスト文化遺産防災学』、学芸出版社、247 頁。

北原糸子 (2011) 「東京市政調査会作成の関東大震災避難者カードについて」
京都歴史災害研究 12、23～30 頁。

土岐憲三 (2008) 「文化遺産と地震対策」、
(立命館大学文化遺産防災学「ことはじめ」篇出版委員会『文化遺産防災学「ことはじめ」篇』、アドスリー)、12～26 頁。

Ooka, Y., Izuno, K., and Toki, K. “Earthquake Response Analysis Traditional Wooden Structures Considering Member Aging”, Journal of Disaster Research, Vol.6, No.1, 2011, 18–25.

(c) 参考文献

注に続いて、参考文献(本文中に引用していないものの参考にした文献)を挙げる
ことができます。和文(五十音順)、英文(アルファベット順)で列挙してください。

(3) 図表および写真

図・表・写真は、それぞれ第 1 図、第 1 表、写真 1 などとし、全編通し番号をつけてください。それぞれの大きさは、A4 判におさまるように、刷り上がりの大きさも指定してください。本文中に、これらを挿入する箇所を、欄外余白に赤鉛筆で記入ください。そのまま、印刷ができる状態にして提出ください。

短報

(1) 長さ

本文・注を合わせて、1万字以内程度のものとしします。

(2) 本文・注・図・表・写真など

論文に準じます。

資料紹介

(1) 長さ

本文・注を合わせて、1万字以内程度のものとしします。

(2) 本文・注・図・表・写真など

論文に準じます。

書評

(1) 長さ

本文・注などを合わせて、3,000字以内程度のものとしします。

(2) 本文・注・図・表・写真など

論文に準じます。